

～くらしに役立つ学習会～

# 海からの警鐘 ～プラスチックごみの現状を知る～

町田市では、今年度からようやく容器包装プラスチックの分別集収が市内全域に広がりました。分別して2ヶ月が経ちその多さに、今更ながら驚いています。

そこで、プラスチック問題と地球環境について40数年プロダイバーとして海と向き合っている環境活動家、NPO 法人気候危機対策ネットワーク代表 武本匡弘さんに「気候変動・気候危機」の実際や、どんなことが地球に起きているのかを目撃者としてお話いただきました。

## 海から見た地球

もし目の前の山が、ある日突然「はげ山」になってしまったら、人々は驚き騒ぎ出すでしょう。ところが、海底一面に見事に広がっていた美しいサンゴ礁がある日突然「がれき化」しても、残念なことに海の中を見ている人は限られ、誰も声を上げることはありません。約40年前は、どこの海に潜っても生物多様性に富んだ素晴らしい海中を見ることができました。しかし、1998年前後からは気候変動・地球温暖化などの影響を受け、海洋環境は大きく変化してきています。特にサンゴが白化して「がれき化」し、昆布やワカメなどの海藻が育たない「磯焼け」が起きているのを目のあたりにしてきました。サンゴは海水温30℃以上になると白化し始めます。



2021年2月に発表された国連環境計画(UNEP)の予想には、日本周辺海域では2024年にサンゴの白化



は常態化するようになりました。残念ながら予想通り2024年日本各地のサンゴは、壊滅的な状況になっています。

## プラスチックスプの海

世界の浜はプラスチックだらけです。プラスチック問題と気候変動は同じ地球環境の問題と言えます。海洋で漂流するプラスチックは、近年増加してきた海水中の有害物質を吸着する性質があり毒性を増しています。顕微鏡でないと見えないようなマイクロプラスチック、中でも多いのは化学繊維の洗濯クズで、海の中にたくさん漂っています。



## プラスチック・ゼロ・ウェイストを目指そう

海で目撃してきた報告を通して、気候変動とともに地球環境がどのように変容していったのか知った今、次に「どうしたらよいか？何をすべきか？」を考え、行動に移しましょう。『プラスチック・ゼロ・ウェイスト』とは、プラスチックごみを出さないことをいいます。私はその行動の一つとして『プラスチックフリー・ゼロ・ウェイスト ストアー』を立ち上げました。来店者は今までのくらしに疑問を感じ始めた人たちと言えます。気候変動の問題に“はて？”と立ち止まり、“しょうがないと諦めてはいけない！”と考える人を増やしていきたいです。この実践は、まさに「知ることは希望」から始まります。

\* \* \* \* \*

私達一人一人が“何をしなければいけないか” “何ができるのか”を考えましょう。まずは、使い捨てプラスチックの削減から始めませんか？私達運営協議会では「ラップの使用量調査」を数年にわたり行いました。気楽に使っていたラップでしたが、量ることで知った使用量に驚き、削減することに繋がりました。現状を知り、行動しましょう。  
(文責 広報部)

## 相談室

# 投資詐欺による 高額被害が多発！



物価高で生活への不安も増す現在、資産を少しでも増やしたいという心理に付け込んだ投資詐欺の相談がとて多くなっています。

### 《事例1》

動画サイトで、有名人がAIを利用したFXや暗号資産の投資を紹介していた。有名人が勧める事業者に80万円を振り込んだが、追加で8000ドル（約120万円）を払わないと法的手続きを行うと脅された。（70代）

### 《事例2》

実在する国際機関が実施しているイベントの広告をSNSで見えてアンケートに答えた。その後、その機関の関係者が行う投資勉強会に参加し、株の購入資金として数回に渡り合計5000万円振り込んだ。家族や友人から詐欺だと言われた。（80代）

### 《事例3》

無料通話アプリで株を購入する権利に当選したとダイレクトメッセージが届き投資グループに入った。そこで勧められた株を400万円で購入し、1500万円になった。出金したいと伝えたら、保証金300万円を払うように言われた。（60代）

### 《事例4》

インターネットで知り合った異性から一緒に投資をしようと誘われ、暗号資産を購入するため個人名義の口座に総額1500万円振り込んだ。税金分も振り込んだが出金できない。（60代）

《アドバイス》事例1は、有名人を騙った詐欺、事例2は、実在する機関を名乗る手口です。事例3は、

突然ダイレクトメッセージが届くケース、事例4はマッチングアプリ等で知り合った人物に騙されたケースです。いずれの事例も詐欺と思われる、警察と弁護士に相談するよう伝えました。最近では、SNS型投資詐欺と言われる、メッセージアプリ等のSNSを通じて近づき信用させたうえで詐欺に誘導する手口が増えています。SNSからの投資話は詐欺を疑いましょう。海外事業者でも日本で金融商品取引行為を行う場合は、金融庁の登録が必要です。金融商品取引に関わる時には、事業者の登録を確認しましょう。詐欺は犯罪です。うまい話は絶対にありません。少しでも不安に感じたらお金を渡さずに、家族や警察、消費生活センターへ相談してください。

## たたんだときの傘の持ち方に注意！

これからの梅雨の時期、使用する機会が多くなる傘ですが、持ち方しただけでは重大な事故につながる危険があります。事故を防ぐポイントを押さえて、傘を持ち歩く時は十分注意しましょう！

★こんな事故が起きています！

1. エスカレーターで、前の人の傘の先が目に入りそうになった。
2. 階段を上っている時に、自分の傘が後ろの人に当たってしまった。
3. 階段を上っている時に、横持ちしている人の傘の先がみぞおちに刺さった。

★事故を防ぐポイント

表示以上の長さであることを意識しましょう！  
一般的に表示されている「傘の長さ」は親骨の長さを指し、持ち手や傘の先端（石突き）の長さは入っていません。携行するときは、必ず持ち手を持ち、先端が真下に向くようにしましょう！傘を横向きにして持つと、持ち手を持った場合と比べて、他者へ危害を与える可能性が高まると考えられます。横向きを持つと危険です！

（東京都消費生活総合センター 東京くらしねっと NO.301）

## 《消費生活センター 今後のイベント予定》

「噛めるお口の大切さ～食べる・笑う・生きる力～」

6/3（水）午前10時～正午 町田市民フォーラム4階 第2学習室

「上手に食材を使い切って冷蔵庫もスッキリ！～エシカル消費を目指そう～」

6/10（水）午前10時～午後0時30分 町田市民フォーラム3階 調理室

「急速に普及が進むキャッシュレス決済を学ぼう～現金は無くなるの？知っておきたい仕組みと注意点～」

6/15（月）午後1時30分～3時30分 町田市民フォーラム3階 視聴覚室

【お申込み先】町田市イベントダイヤル 042-724-5656

【お問合せ先】町田市消費生活センター 042-725-8805